

## 汎用計測機器を用いた省力化連続PQ測定システムの開発

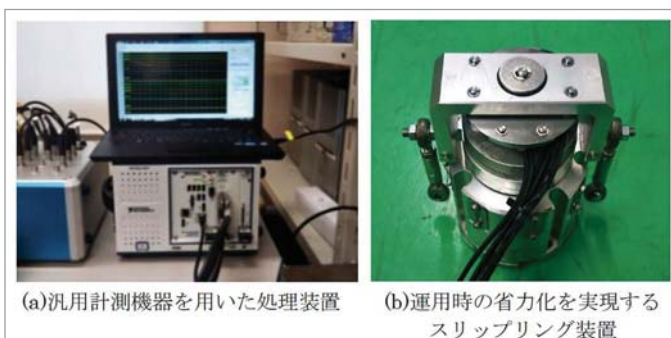
鈴木 貢 遠竹 隆行 本堂 貴敏 國行 翔哉

走行安全性評価を目的に実施する輪重横圧測定の手法の1つに新連続法があります。新連続法では、処理装置とロータリエンコーダ内蔵スリップリング装置、この2つの技術を用いた測定システムにより、輪重、横圧などの連続的な測定を実現しています。しかし、現行の各装置は、開発からの経年による老朽化、陳腐化等の問題に直面しており、このままでは新連続法の安定運用に支障を来す恐れが出てきました。そこで、新しい処理装置ならびにスリップリング装置の開発を行ないました。

開発に当たっては、単に装置の更新だけではなく、各装置に新たな特徴を持たせました。処理装置は今後想定される運用上の課題を克服できるよう汎用機器を用い構

成しました。一方、スリップリング装置は装置取り付け作業の省力化を図る構造を採用しました。

開発した処理装置、スリップリング装置の機能確認を目的とした各種試験を行ない、いずれも実用レベルにあることを確認しました。



(a)汎用計測機器を用いた処理装置

(b)運用時の省力化を実現するスリップリング装置

図 開発した処理装置とスリップリング装置